

給水装置工事申込書（正・副）

平成 年 月 日

大井上水道企業団

企業長 様

この申込書及び添付図書に記載の給水管装置工事の計画は、大井上水道企業団水道事業給水条例及び給水条例施行規程並びに指定給水装置工事事業者規程に基づき、申し込みます。
 なお、今回の工事申し込み、施工に係る一切の権限を下記の指定給水装置工事事業者に委任します。

申 込 者	住 所	設置場所 郵便番号	〒 -	
	フリガナ		続 柄	
	氏 名			
設置申込場所		電話番号	- -	
給水装置所有者		町 名		
指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者 名	電話番号() -	工 事 事 業 者 番 号	指 第 号	
給 水 装 置 工 事 主 任 技 術 者 名		免 状 の 交 付 番 号	第 号	
給 水 工 事 の 種 別	1 . 新 設 2 . 改 造 3 . 仮 設 4 . 修 繕 5 . 廃 止			
給 水 装 置 工 事 の 内 容	1 . 屋 内 ・ 屋 外 配 管 工 事 2 . 屋 外 配 管 工 事 3 . 屋 内 配 管 工 事			
建 築 物 の 種 別	一般住宅 ・ 一般建築物 ・ 集合住宅 ・ 建売住宅(宅地分譲)			
建 築 物 の 構 造 ・ 階 数	木造・鉄骨造・RC造 棟 階建 (集合住宅室数 室) その他 () 区 画			
量 水 器 の 口 径	mm 個	工 事 着 手 予 定 日	平成	年 月 日
		工 事 完 了 予 定 日	平成	年 月 日
道 路 ・ 河 川 占 用 許 可 申 請 書	必要(申請中)・不要	自 家 用 水 道	有 ・ 無	
建 築 確 認 済 証 の 写	必要(申請中)・不要	受 水 槽	型 式 (材 質)	
私 有 地 埋 設 承 諾 書	必要 ・ 不要		有 効 容 量	m ³
給 水 管 所 有 者 分 岐 承 諾 書	必要 ・ 不要	設 置 箇 所	地上 ・ 高置	
そ の 他				
備 考	1 . 給水装置工事申込書は、正、副の2部を提出する。 2 . 給水装置工事申込書は、必要事項を記入し、給水装置工事使用材料調書、各種図面及び必要に応じて、私有地埋設承諾書、給水管所有者分岐承諾書、各種占用許可申請書等を添付の上、書類に不備のないように申請する。 3 . 各種占用許可を必要とする工事は、各管理者より許可証の交付を受けてから、給水装置工事を承認することとなるため、工期選定には留意すること。 4 . 事前協議を必要とする給水装置工事は、必ず事前協議申請書を提出する。 5 . 確認標交付時に設計審査手数料・占用等申請手数料を、量水器の出庫時に、開栓請求書提出及びを加入分担金と開栓手数料を合わせて納める。 6 . 給水装置工事の承認後に、量水器設置場所の変更、分岐工事使用部材の変更、給水栓の増減等が必要となった場合、給水装置工事申込変更申請書を必要書類と合わせて提出する。 7 . 給水装置工事が完了した時は、給水装置工事検査申請書に給水装置工事申込書(副)の写し、竣工時数量を記入した屋外(屋内)配管使用材料調書、竣工時の各図面、各種写真等を添えて企業団へ提出する。 8 . 給水装置工事検査完了後、工事検査手数料を納める。			

給水装置工事申込変更申請書（正・副）

平成 年 月 日

大井上水道企業団

企業長 様

下記の給水装置工事において、給水装置に変更が必要となったため、必要書類を添付し申請します。

給水申込受付年月日	平成 年 月 日	受付番号	第 - 号
確認標交付年月日	平成 年 月 日	確認標交付番号	第 - 号
申込者	住所		
	フリガナ		
	氏名		
設置申込場所			
給水装置所有者			
指定給水装置工事事業者名	電話番号()	工事事業者番号	指第 号
給水装置工事主任技術者名		免状の交付番号	第 号
給水工事の種別	1.新設 2.改造 3.仮設 4.修繕 5.廃止		
給水装置工事の変更内容	1.屋内・屋外配管工事 2.屋外配管工事 3.屋内配管工事		
添付書類	変更平面図、変更立面図、その他()		
主な変更箇所			
変更理由			

給水装置工事検査申請書

平成 年 月 日

大井上水道企業団

企業長 様

給水装置工事事業者

住 所

事業所名

代表者名

給水装置工事主任技術者

氏 名

下記の給水装置の工事が完了したので、検査を申請します。なお、別紙のとおり給水装置を確認し、異常がないことを合わせて報告いたします。

記

1．給水装置工事承認番号

2．給水装置の設置場所

3．給水装置工事の申込者名

4．給水装置の所有者名

5．給水工事の完了年月日 平成 年 月 日

給水装置工事主任技術者

下記のとおり、給水装置工事の確認を行いました。

氏 名

承認番号		平成 年度 第 号		確認実施日		平成 年 月 日	
給水装置設置場所							
給水装置工事 申込者				給水装置所有者			
確 認 項 目							
承 諾	1	宅地内所有者の承諾はあるか	有・無	路面 復旧	28	舗装の仮復旧はよいか	良・否
	2	家屋所有者の承諾はあるか	有・無		29	公道の舗装復旧はよいか	良・否
	3	私有地埋設の承諾はあるか	有・無		30	本舗装復旧は完了したか	良・否
	4	給水管分岐の承諾はあるか	有・無		31	占用工事の復旧状況写真は有るか	良・否
	5	占用工事の許可及び承認はあるか	有・無		竣工 図	32	給水装置は竣工図どおりか
防 護	6	宅地内の深さは適切であるか	良・否	33		量水器の位置は竣工図どおりか	良・否
	7	公道内の深さは適切に布設してあるか	良・否	34		止水栓の位置は竣工図どおりか	良・否
	8	立上がり管の防寒は十分であるか	良・否	35		管種・口径は竣工図どおりか	良・否
	9	2階以上の立上がりは各階にバルブがあるか	良・否	36		縮尺は間違いはないか	良・否
	10	露出管の固定は適切か	良・否	37		範例は明瞭か	良・否
	11	防護工事を施工したか	良・否	既設 管そ の他		38	受水槽の配管に問題はないか
12	その他構造物との離隔は十分か	良・否	39		プール等の逆流防止はよいか	良・否	
管 継 手 類	13	指定材料・工法に問題はないか	良・否		40	死水の生じる恐れはないか	良・否
	14	継手類は規格品を使用したか	良・否		41	既設管は十分水圧に耐えられるか	良・否
	15	インサートリングを取り付けたか	良・否	42	クロスコネクションは生じていないか	良・否	
水 栓 類	16	水栓類は規格品で検査品を使用したか	良・否	そ の 他	43	量水器を正方向に取付けたか	良・否
	17	水栓の選定は適当か	良・否		44	水圧テストを実施し写真の添付はあるか	良・否
	18	フラッシュに真空破壊装置が付いているか	良・否		45	水の出はよいか	良・否
	19	特殊器具の承認は受けているか	良・否		46	ウォーターハンマーは起こらないか	良・否
	20	ボールタップの性能は良いか	良・否		47	その他異常はないか	良・否
メ ー タ ー 止 水 栓	21	メーターの取付位置は良いか	良・否	備 考			
	22	メーター検針し易いか	良・否				
	23	メーターの凍結防止は良いか	良・否				
	24	ベストップバルブの取付状況は良いか	良・否				
	25	箱内に汚水の流入の恐れはないか	良・否				
	26	箱内の中央に配置されているか	良・否				
	27	メーター前後の配管状態はよいか	良・否				

注意 1 : 『 』の項目は大井上水道企業団でも特に検査を行います。

注意 2 : 該当しない項目には斜線を引いて下さい。

注意 3 : アパート等複数のメーターを設置する場合、施主に引き渡す前に検査を実施します。検査員と検査日程を打ち合わせて下さい。各部屋とメーターの関連を確認しますので各部屋と量水器の対応表(自由様式)を持参して下さい。

給水装置工事屋外配管使用材料調書

申込者住所	島田市金谷東一丁目1255-2	施工場所	島田市金谷東一丁目1255-2	指定工事業者	(株) ×水道	設計日	平成 25 年 4 月 1 日	
氏名	大井上水道企業団 企業長	給水装置所有者	大上水道企業団 企業長	主任技術者	大井 太郎	竣工日	平成 26 年 3 月 31 日	
材 料 名	口 径	器 具 の 規 格 等		使 用 数 量		備 考		
		品 番 等	規 格 ・ 型 式 ・ 認 証 番 号	設 計 時	竣 工 時			
サドル付分水栓(ボール式) 鋳鉄管(粉体管用防食コア付)用	100mm × 20mm	J1-EAD	JWWA B 117 ; 2007	1.0 個	1.0 個			
水道用ポリエチレン管ワンタッチ継手 分・止水栓用	20mm	OP-J	G-268(JWWA)	3.0 個	3.0 個			
水道用ポリエチレン管ワンタッチ継手 PPエルボ	20mm	OP-L	G-268(JWWA)	4.0 個	6.0 個			
水道用ポリエチレン管ワンタッチ継手 メーター用ユニオン	20mm	OP-M	G-268(JWWA)	1.0 個	1.0 個			
水道用ポリエチレン 2 層管 (PP)	20mm		JIS K 6762 ; 2004	15.0 m	16.5 m			
管明示シート(アルミ)W=150mm	-	アルタランシート・S		10.0 m	10.0 m			
耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)	20mm		JIS K 6742 ; 2007	1.0 m	1.0 m			
シーリング止水栓	20mm	ZR-G20	E-450(JWWA)	1.0 個	1.0 個			
メタルパッキン(止水栓用)	20mm	PK-MJ		3.0 枚	3.0 枚			
バルブボックス(100mm × 400mmパイプ付)	-	SSV100B		1.0 個	1.0 個			
量水器ボックス(大井上水道企業団マーク入)		MB-20SF		1.0 個	1.0 個			
開閉防止式ベストップバルブ L形	20mm × 13mm	MV-BT-TL	E-220(JWWA)	1.0 個	1.0 個			

提出書類チェック表					
書類名称等			提出部数	チェック	備考
給水 申込時	給水 装置 工事 申込書	給水装置工事申込書(表紙)	2部 (正副)		必須
		位置図			必須
		案内図			必須
		大井上水道企業団配管図(1/1000)			必須
		平面図			必須
		配管立面図			必須
		屋外(屋内)配管使用材料調書			必須
		建築確認済証(写し)			
		私有地埋設承諾書			
		給水管所有者分岐承諾書			
		その他必要な書類			
	道路(河川)占用許可申請書	3部			
	小規模貯水槽水道台帳	1部			
簡易専用水道台帳	2部				
変更 申込時	給水装置工事申込変更申請書(表紙)	2部 (正副)		必須	
	平面図(変更)			必須	
	配管立面図(変更)			必須	
	その他必要な書類				
量水 器出 庫時	給水使用(変更)届出書	1部		必須	
	預金口座振替依頼書	1部			
	加入分担金	必要な金額			
	開栓手数料	必要な金額			
完了時	給水 装置 工事 検査 申請書	給水装置工事検査申請書(チェックリスト含む)	1部		必須
		給水装置工事申込書(副)(表紙の写し)			必須
		給水装置工事申込変更申請書(表紙の写し)			変更のあった場合
		案内図			必須
		大井上水道企業団配管図(1/1000)(竣工)			必須
		平面図(竣工)			必須
		配管立面図(竣工)			必須
		屋外(屋内)配管使用材料調書(竣工)			必須
		水圧テスト実施状況写真			必須(屋内外工事分)
		その他必要な書類			
	埋め戻し状況写真(本舗装復旧含む)		(占用工事実施分)		
ベストップバルブ閉栓用キャップ	設置数個				

水圧テスト実施状況写真は、テストポンプ接続箇所が解るように撮影したもの、ゲージが明瞭に撮影されたものを添付して下さい。

(この書類の提出は不要です)

私有地埋設承諾書

平成 年 月 日

給水装置工事申込者
住所

氏名
TEL

このたび貴殿が所有する、下記の土地に給水管を埋設して、大井上水道企業団が給水している水道水を受水し水道水を使用したいので、下記の土地内に給水管を埋設することにご了承願います。

尚、今後本承諾に関し紛争が生じたときは、大井上水道企業団には迷惑をかけず、当事者間で一切を解決し、給水装置所有者又は使用者に異動があるときには、私が本承諾を継承させます。

記

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 給水管埋設土地の地番 | |
| 2. 地 目 | 1. 宅地 2. 畑 3. 田 4. その他() |
| 3. 給水装置所有者氏名 | |
| 4. 分岐の位置 | 別紙図面のとおり |
| 5. 分岐給水管の口径 | mm |
| 6. 給水管埋設距離 | |
| 7. 給水管の埋設方法 | 別紙図面のとおり |

私が所有する土地に給水管を埋設し、大井上水道企業団からの水道水を使用することに承諾いたします。

尚、今後本承諾に関し紛争が生じたときは、大井上水道企業団には迷惑をかけず、当事者間で一切を解決し、土地所有権に異動があるときには、私が本承諾を継承させます。

平成 年 月 日

土地所有者
住所

氏名

給水管所有者分岐承諾書

大井上水道企業団 様

この度、私 甲 _____ が _____ 地先に住宅を新築するにあたり、乙 _____ の所有する既存宅内給水管より分岐し給水するにあたり次の事を約束します。

1．本工事により、水量・水圧不足が生じても大井上水道企業団には、一切ご迷惑をおかけいたしません。

甲乙間にて解決いたします。

2．分岐給水管の維持管理においては、甲が自己にて管理・点検・修繕いたします。

3．給水装置所有者又は使用者に異動が生じたときはそれぞれが承諾書の内容を継承させます。

平成 年 月 日

甲 住所

氏名

乙 住所

氏名

給水装置一部先行工事等注意事項承諾書

給水装置の一部を先行して施工、または、残存させることに関する注意事項

- ・穿孔した穴が閉塞して、出水不良が起こる恐れがあります。
- ・経年劣化等により、漏水が発生する可能性があります。
- ・計画が変更となり給水装置が不要となった場合には、分水栓より撤去していただきます。
- ・給水装置一部先行工事に起因する、すべての不具合の改善に要する費用は、給水装置所有者の負担となります。

大井上水道企業団 様

上記の内容を十分理解し、不具合が起こった場合の費用負担を承諾し、給水装置工事を申請いたします。また、このことは、給水装置所有者を変更した場合にも継承いたします。

平成 年 月 日

申請者
住所
氏名

⑩

給水管管理に関する承諾書

大井上水道企業団 様

この度、私が _____ 地内 で執り行う給水装置工事において、量水器が官民境から大幅に離れているため、量水器一時側の給水管についても、私が自己にて維持管理することを承諾します。

また、給水装置所有者(または、使用者)に異動が生じたときは、この承諾書の内容を継承させます。

平成 年 月 日

住所
申請者(給水装置所有者)
氏名

印

大井上水道企業団給水装置工事申込書について

1. 給水装置工事申込書

- ・ 申込者住所の欄は申込時点での現住所を記入して下さい。
- ・ 申込者氏名の欄は、フリガナの記入をお願いします。
株式会社→(カ)
代表取締役→(省略)
- ・ 申込者続柄の欄には給水装置の所有者となる方との続柄を記入して下さい。
給水装置所有者本人、建築業者等
- ・ 申込者電話番号は現住所の電話番号又は、携帯電話の番号を記入して下さい。

2. 給水工事の種別

- ・ 新設工事
配水管から新たに分岐する工事や、新規に量水器を設置する工事とします。基本的に加入分担金が発生します。
- ・ 改造工事
既存の給水装置に、新たな給水装置を増減させる工事とします。
新たに配水管から分岐し、給水管を増減径する工事の場合、旧サドル分水栓を分岐止めとして下さい。(廃止工事相当)
増径に伴う加入分担金は、差額分を徴収します。
減径に伴う加入分担金は、返金しません。
- ・ 仮設工事
仮設事務所等で、使用期間が概ね1年未満の給水装置を設置する工事とします。加入分担金は徴収いたしません。
- ・ 修繕工事
既存の給水装置を修繕するための工事とします。
- ・ 廃止工事
給水装置を廃止する場合の工事とします。
分岐止めとする。
加入分担金は、返金しません。

3. 給水装置工事の内容

- ・ 屋内・屋外配管工事
配水管からの分岐(又は止水栓)から給水栓までの一貫した工事
新規に量水器を取りつけ、給水栓を設置する場合に、加入分担金が発生します。
- ・ 屋外配管工事
配水管からの分岐から量水器ボックス部までの工事

止水栓止めの場合、工事申込書『その他』の欄に明記し、先行工事等に関する承諾書を提出して下さい。

原則として1区画に1分岐、交差点内での分岐はできません。

1区画に2分岐以上の給水装置がある場合には、使用しない給水装置(給水管)は廃止工事とし給水申し込みをしてください。

屋外配管工事においては、企業団の管理上工法・材料の指定があります。

ダクタイル鋳鉄管からサドル分水栓により分岐工事を行う場合、布設年度によりモルタルライニングと、エポキシライニングが存在するため、確認が必要となります。(エポキシライニングはGX形より採用)

CIP用サドル分水栓に使用する防食コアには『密着コア』を使用して下さい。(前田バルブ工業㈱拡張式防食用密着コア(品番SA-RM、SA-RP)、前澤給装工業㈱密着コア(コード921006)等)なお、コアの挿入に関しては各メーカーの指定する挿入機を使用して確実に取り付けることとします。

分岐口径はφ20mm以上、管種は水道用ポリエチレン2層管、水道用ポリエチレン管ワンタッチ継手を使用し、曲げ配管時にはエルボを使用することとします。

φ13mm～φ25mmは前田バルブ工業㈱製開閉防止式ベストップバルブL形(品番MV-BT-TL)、または、前澤給装工業㈱製逆ボ伸縮止水栓KS型開閉防止型(コード354732)を使用して下さい。(カタログ上のKS型開閉防止2型(コード354621)とは型が違うので注意して下さい。)止水栓を設ける場合には、シーリング止水栓又は、ボール止水栓(乙形)を使用し、止水栓匡には前澤化成工業㈱製のバルブボックス(検知金属入り)を使用して下さい。道路上にバルブを設ける場合には、バルブ匡はアクアインテック㈱製ピットカバー(型式PC-15HH-1B-213)を使用し、青銅製ソフト型仕切弁(丸ハンドル形)を使用して下さい。

量水器ボックスには、前澤化成工業㈱製沈下防止型標準タイプMB-20SF(量水器φ13・20mm)、MB-25SF(量水器φ25mm)(企業団マーク入り)を使用して下さい。φ40mm以上に関しては事前協議とします。(量水器φ30mmは原則使用していません)

量水器ボックスの設置箇所に関しては、原則官民境より概ね2.0m以内とし、駐車スペース、花壇、ガスボンベスペース等、維持管理が困難となる場所にならない様に、配慮して設計して下さい。設置箇所が平面管路延長で概ね2.0mを超える場合は、別途協議の上決定することとし、別途給水装置工事に関する承諾書を添付していただくこととします。

新設工事の場合加入分担金は発生しません。

・屋内配管工事

量水器から給水栓までの工事

水質保持の観点から、使用材料には日本水道協会認証材料を使用して下さい。

先行工事等に関する承諾書を提出していただく場合(既設屋外工事相当箇所を再使用する場合)があります。

新規に量水器を取りつけ、給水栓等を設置する場合、加入分担金が発生します。

4. 添付書類(用紙サイズは原則A4とする)

- ・位置図・案内図・公図写等

申請箇所が明確に分かるよう明記をお願いします。

- ・大井上水道企業団(1/1000)配管図

当企業団で写しを実費にてお渡しできます。

給水管の取り出し位置(分岐位置)と量水器設置位置を明記して下さい。

- ・平面図・立面図

用紙サイズをA4として記入して下さい。

給湯器、混合水栓等の給水装置、既設管、新設管、自家水道等、管種が明確に判別できるように製図願います。

できれば、青色[水]、赤色[湯]、緑色[井戸水]、既設管[破線]、新設管[実線]、配管[太線]、当初配管[細線]・変更(竣工)配管[太線]等凡例を明記して下さい。

縮尺は任意とします。

- ・屋外(屋内)配管使用材料調書

日本水道協会HP上で機器の確認が取れるように、器具の規格等の欄には、品番等又は規格・型式・認証番号を記入して下さい。

- ・道路(河川)占用許可申請書 (3部)

大井上水道企業団企業長名で当企業団より道路(河川)管理者に提出します。(道路使用許可申請書は、工事事業者で申請して下さい。)

各管理者へ許可申請書内容の確認を取ってから当企業団へ提出して下さい。

完了届提出時に、埋め戻し状況の分かる写真を添付するため、施工の際には、埋め戻し材毎撮影して下さい。検査申請書に添付をお願いします。

- ・建築確認済証の写し

建築確認を必要とする建築物の給水装置工事を行う場合に(第1面のみ)添付して下さい。

申請中の場合には□に☑を付けて、後日提出して下さい。

- ・私有地埋設承諾書

配水管から給水管を引き込む際、やむを得ず、他者の所有する土地に埋設する場合に添付して下さい。

同一区画内に別棟を建築する際も土地所有者と給水装置所有者間で必要とします。

- ・給水管所有者分岐承諾書

企業長の布設していない水道管(私設給水管)からやむを得ず分岐する場合に添付して下さい。

・ 給水装置一部先行工事等注意事項承諾書

宅地造成等により、止水栓(量水器ボックス)までの屋外工事を先行する場合に添付してください。

・ 給水管管理に関する承諾書

量水器ボックスの設置位置に関し、規定値から外れる場合に添付していただきます。

・ 小規模貯水槽水道台帳 (1部)

受水槽を設置する場合、有効容量合計10m³以下の場合に提出して下さい。

・ 簡易専用水道台帳 (2部)

受水槽を設置する場合、有効容量合計10m³以上の場合に企業団経由で提出します。

5. 給水装置工事検査申請書

・ 添付書類について

給水装置工事完了後速やかに、給水装置工事申込書(副)の写し、給水装置工事屋外(屋内)配管使用材料調書(竣工時の使用数量を明記したもの)、平面、立面図等の変更(竣工)図面、水圧テストの実施状況等の工事写真を添付し、検査申請書を提出して下さい。

・ 検査手数料の納付について

道路(河川)占用工事、配水管から分岐した工事の場合徴収します。検査終了後納入通知書を発行します。手数料の納付をもって工事が終了します。

・ 手直し工事について

企業団検査員による検査において手直しが必要と判断された場合には、速やかに、補修、変更等の作業を実施し完了を報告願います。

・ 給水装置工事の竣工に伴う水圧テストについて

1. 屋外工事

・ サドル分水栓～第一止水栓(ベストップバルブ)までの耐圧試験について

試験水圧 1.0MPa の静水圧を 5 分間加え水漏れ、変形、破損その他異常を生じていないこと(試験時の写真を添付)

チーズによる取出しの場合には試験が困難であることから、耐圧試験は免除とする。但し、継手部での漏水等がないようより入念に施工すること。

・ 試験方法

- ① 配水管上にサドル分水栓を設置する。(穿孔しないこと)
- ② 第一止水栓(ベストップバルブ)まで配管する。
- ③ サドル分水栓上部にテストポンプを取りつける。
- ④ 第一止水栓(ベストップバルブ)より十分に空気を抜き止水する。

- ⑤ テストポンプにより徐々に試験水圧に加圧する。
- ⑥ 試験水圧に達したら、テストポンプのコックを閉じ、試験時間を保持。(ゲージを撮影)
- ⑦ 試験時間経過した後、異常のないことを確認。(ゲージを撮影)
- ⑧ 第一止水栓(ベストップバルブ)から徐々に減圧してからテストポンプを撤去する。
- ⑨ 配水管に穿孔する。
- ⑩ 埋め戻し(占用工事の場合、埋め戻し材毎の写真撮影を行うこと)

2. 屋内工事

・量水器～給水栓までの耐圧試験について

主任技術者の判断により、当該配水管の最大静水圧に安全率を勘案した、試験水圧とし、試験時間を設定する。

ただし原則は、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年3月19日厚生省令第14号)第一条に定められた、1.75MPaの静水圧を一分間加え、水漏れ、変形、破損その他異常を生じていないことを確認してください。但し、同条第二号及び第三号に掲げる給水用具等は、バルブを閉じてから試験するようにお願いします。なお、第四号に掲げる給水器具が含まれる場合には、さらに、0.02MPa(20KPa)の静水圧を一分間加えて確認を行って下さい。

6. その他

・注意事項

給水装置の一部を先行して施工、または、残存させたことによる不具合(出水不良や、移設、撤去にかかる費用等)については、大井上水道企業団では対応いたしかねますので、給水装置工事申込者、または、給水装置所有者にて対応していただきます。

平成27年9月1日提出分より適用とします。

・事前協議が必要な場合

土地利用事業承認が必要となる開発行為に供する給水装置工事
アパート等の集合住宅を建築しようとする時
その他一般住宅以外の給水装置工事

・その他不明な点はその都度問合せ願います。

給水管布設例

